

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成23年9月26日

施設名	森林研修センター情報交流館	所管課	林業環境政策課
-----	---------------	-----	---------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成24年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80番地		
事業内容	(1) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 情報交流館の利用促進に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 情報交流館:木造、平屋建、延床面積609.35㎡ 開館時間:午前9時から午後5時まで 休館日:①月曜日(その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日)、②休日の翌日(その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。)、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金:1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円(370円)、シアター630円(780円)、(())は休館日)		
職員体制	常勤職員:	3人	非常勤職員: 人 合計: 3人

2 収支の状況

単位:千円

		平成21年度(決算)	平成22年度(決算)	平成23年度(予算)
収入	県支出金	14,307	14,307	14,307
	利用料収入	116	140	80
	参加料収入	2,036	2,592	1,920
	その他	231	220	
	収入計 (a)	16,690	17,259	16,307
支出	事業費	1,820	1,587	2,010
	管理運営費	2,820	3,178	3,050
	人件費	11,294	11,661	11,247
	支出計 (b)	15,934	16,426	16,307
収支差額 (a) - (b)		756	833	0

3 利用状況

	平成21年度(実績)	平成22年度(実績)	平成23年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	9,846	10,247	10,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業、各種体験授業、ボランティア養成講座等の行事終了時に参加者及び指導者の方々に感想文やアンケートの提出を求めている。 ・館内にご意見箱を設置し、利用者の意見を求めている。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校側と打ち合わせをするなど、利用者のねらいを把握し、適切なスタッフの割り振りや希望に沿うような形での活動内容の実践を心がけている。円滑な運営のための事前準備や利用フィールドのチェック、スタッフへの指導内容の徹底などを欠かさずに行い、利用者側も指導者側も有意義な一日が過ごせるようにできる限りの配慮をしている。 ・感想文やアンケートを参考にし、改善すべき点は改善し、職員間で情報を共有することにより、より良いサービスの向上に努めている。 		
③その他特記事項			

4 平成21年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員は3名であるが、イベント時等はネットワークのボランティアや養成講座で育成したボランティアの応援体制もできている。 ・施設内もおおむね適正に管理され、来館者に対するパンフレットの配布や危険に対する注意喚起を行うなど、利用者の安全確保もできている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の打ち合わせを行い学校側の要望を把握するとともに、学年・ニーズに合わせた内容でプログラムを実施するなど質の高い環境学習をコーディネートしている。 ・インターネットや紙媒体(情報誌・チラシ)、マスコミ(新聞・テレビ・ラジオ等)を利用してより広く情報発信している。また、出前授業の際に宣伝する等地道な広報活動にも努めている。
③利用実績	<p>年度事業回数は459回となり、当初目標(協定書の136回)以上の実績件数となっている。また、入館者数も10,247人となり、21年度と比較して約400人増加した。</p>
④収支の状況	<p>おおむね予算どおりに執行されており、経費削減にも努めている。</p>
総合評価 (A~D4段階)	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた管理費で、おおむね適正な管理が行われている。 ・今後、教育委員会、学校、先生との連携を強め、新しい学習指導要領に対応したカリキュラム作りを考えていくことが望まれる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの